

市長記者会見記録

日時：2021年7月20日（火）14時00分～14時22分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：（話題提供）新型コロナワクチンの大規模接種会場の運営を延長し新たに予約を受け付けます（健康福祉局）

市政一般

<内容>

《新型コロナワクチンの大規模接種会場の運営を延長し新たに予約を受け付けます》

【司会】 ただいまから定例市長記者会見を始めます。

今日は、初めに話題提供として、「新型コロナワクチンの大規模接種会場の運営を延長し新たに予約を受け付けます」について福田市長から御説明いたします。市長、よろしく願いいたします。

【市長】 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数につきましては、再び急激な増加に転じています。また、感染者数に占める高齢者の割合は低下傾向にある一方で、50歳代以下を中心に入院者数の増加が続いており、可能な限り速やかに希望する全ての市民の皆様にワクチン接種を進める必要があるものと考えております。

10月に開始を控えている季節性インフルエンザの予防接種への影響等も見据えますと、集団、個別、巡回による接種機会に加え、当面、大規模接種会場も活用しながら、スピード感を持って新型コロナワクチンの接種事業を実施することが重要でございますことから、次のとおり、大規模接種会場の運営を延長いたします。

具体的には、1「大規模接種会場の延長について」の（2）「運営概要」を御覧ください。NEC玉川ルネッサンスシティホールに設置しております大規模接種会場につきましては、現在、2回目接種の期間でございますが、8月1日をもって接種終了の予定でしたが、枠囲みに記載のとおり、8月18日から10月10日までの約8週間、運営を延長することといたしました。また、接種は週5回、1日当たり1,000回で、モデルナ社製ワクチンを使用する予定でございます。

次に、2「大規模接種会場の予約受付」でございますが、延長分の予約につきましては、今週の土曜日、7月24日8時30分から受付を開始いたします。なお、ファイザー社製ワクチンにつきましては、今後の供給に不透明な部分がございますが、個

別接種の協力医療機関は、身近で安心して接種を受けられる場として重要な役割を担っておりますので、引き続き、優先的な供給を行ってまいりたいと存じます。

説明は以上です。

《市政一般》

【司会】 それでは、ただいま御説明をいたしました話題提供の件と市政一般に関する質疑に入らせていただきます。進行につきましては、幹事社様、よろしく願いをいたします。

《新型コロナワクチンの大規模接種会場の運営を延長し新たに予約を受け付けます》

【朝日（幹事社）】 それじゃ、まず、話題提供いただいたところについて。朝日新聞ですけれども、前回、高齢者のとき、この2か月間、6月、7月でやったものに比べると回数が減っていますけれども、これは体制によるものというよりは供給の問題なんでしょうか。

【市長】 そのとおりです。供給ということです。

【朝日（幹事社）】 供給される数、最も多く見積もって、やっぱりこのぐらい減ってしまうということなんでしょうか。

【市長】 現時点で安心して確保できる数がこのぐらいということでありまして、今後変動する可能性はありますが、現時点で確定しているという意味では、1日1,000回という枠です。

【朝日（幹事社）】 変動するというのは、仮に、より多く入ってきた場合は、この大規模接種会場での接種を増やすというお考えですか。

【市長】 モデルナが増えた場合には、当然、大規模接種会場という形になります。

【朝日（幹事社）】 分かりました。それから、さっき、ファイザーのことにも触れられていましたけれども、ファイザー製のものについては、先ほど、個別接種に優先的にと言っていましたが、これは集団接種は減らすという意味ではないということでしょうか。

【市長】 というよりも、個別医療機関が、結構ニュースでファイザーが手に入らないんじゃないかという、そういう御心配をされる医療機関がございます。そういった意味で、川崎市の姿勢として、やはり身近なところで受けていただくという、個別接種が一番メインのところですので、そこのメインのところを欠いてはいけないということをおもっておりますので、そういった意味で、優先的にしっかりと提供していきますということでございます。

【朝日（幹事社）】 ファイザー製だと、そちらを優先するということは、仮に供給量が減った場合には集団接種のほうを絞ることがあり得るんですか。

【市長】 可能性としては、あり得ます。今のところ、ワクチンのことが何とも言えない中で、集団を減らすとか個別を減らすとかというのはちょっと言いづらい部分があるんですけども、基本的には、まず、安心して個別接種が受けられるような優先的な供給をしていくということでありまして。ですから、集団接種について、今現時点でどうのこうのということは考えておりません。

【朝日（幹事社）】 その優先の意味をちょっと考えちゃうんですが、個別接種のほうの枠は大きいんですけども、予約の仕方がまちまちで見えにくいという指摘もあつたりして、集団接種のほう非常に公平には見えるんだけど、あつという間に埋まってしまう、こんな指摘がありますけれども、どうですか。

【市長】 そもそも割合として、個別接種を増やしていくということが大事な、一番メインストリームのところですので、ここはしっかりやっていきたいと思えます。集団か個別かどっちなんだと言われると、やはり個別というところはしっかり大事にしていきたいとは思っております。

【朝日（幹事社）】 分かりました。卑近な話ですが、今週の土曜日、24日から40歳以上に予約枠が広がって、多分市長にも接種の予約の権利が来るんだと思うんですけども、これ以前にまず受けていることはあるのかということと、接種、どのように受けるおつもりかということをお聞かせください。

【市長】 まず、受けておりませんので、24日から開始になる、その枠の中でやっというふうに思います。どの手法かというのは、空いたところに――空いたところにというのも変ですけど、大規模でいくのか個別でいくのかというのは今後考えたいと思えますが、特に決まってはおりません。

【朝日（幹事社）】 でも、できるだけ速やかに、順番が回ってきたのでということでしょうか。

【市長】 そうですね、はい。

【朝日（幹事社）】 私からは以上です。

【時事（幹事社）】 時事通信です。先ほど、ワクチンのお話をされましたけれども、モデルナ社製だけでなく、ファイザーのほうメインということですけども、ファイザーの医療機関への供給に、今のところどこか支障が出ているところとか不足になっているとか、そういう状況にはあるんでしょうか。

【市長】 いや、現在のところ、そういった話は聞いていません。

【時事（幹事社）】 今後の入荷の予定も、今のところは変わりなく、予定どおり入ってくるということなんでしょうか。

【市長】 そうですね。今示されている、来るところで、11週までは出ているんですけど。そうですね。11クールまでは出ていますが、それ以降の供給がどうなるかというのは詳細を示されていないので、そこが早く示されてほしいなというのはありますけれども。

【時事（幹事社）】 この大規模接種の延長なんですけれども、この延長によって、どれぐらいの方、40歳以上でカバーされるんでしょうか。

【市長】 1日1,000回の週5回掛ける8週という形ですので、トータル何万……。

【健康福祉局】 1日1,000回の週5日でございますので、約2万人の方の2回接種分というような、そんな状況でございます。

以上でございます。

【時事（幹事社）】 接種実績から見ると、これをもってしても、まだまだ足りないという状況には変わりはないんでしょうか、それとも、それなりにこれによってカバーされるんでしょうか。

【市長】 もともと大規模接種のところは、当初の接種計画の中ではプラスアルファの部分なので、そういった意味では、大規模接種の1回目というのが終わって2回目という、ある意味プラスアルファの部分ですので、そういった意味では、良いふうにも上振れに働いているとは思いますが。

【時事（幹事社）】 幹事社から以上です。

【神奈川】 神奈川新聞社ですけれども、昨日、黒岩知事が、11クール分のモデルナの大規模接種会場の分について、川崎は2箱ということですが、かなりの数、横浜では予約した分についてできないかもしれないというようなものが、入ってこないことが分かったということがありまして、今回、週5回で1,000回分とありますけれども、この分について、そういう不安定さに対する懸念とかいうのはありますでしょうか。

【市長】 国から、13週のところからは入ってくるというお話をいただいていますので、そういった意味での堅い部分で1日1,000回ということを見込んでいますので、そこは大丈夫だと思っています。

【神奈川】 じゃ、最低限1,000回は平気で、さらに、数によっては、もうちょっと入ってきそうだったら、もうちょっと要求して回数が増えるということはあるかと、そういうイメージでしょうか。

【市長】 あり得るのかもしれませんが、何ともそこはまだ分からないということです。

【神奈川】 ありがとうございます。

【東京】 すみません、関連して。東京新聞ですけれども、今回、2箱ということで、恐らく200回分のワクチンが予定よりは入らないということですが、これについては8月1日までの接種に影響はないでしょうか。

【市長】 8月1日分のワクチンは確保できているということでありますので、影響はありません。キャンセルするような事態にはなりません。

【東京】 ちなみに、予備分というか、もともと少し余裕を持って見ていた分が使えるという理解でよろしいでしょうか。

【市長】 そういう理解でいいのでしょうか。

【健康福祉局】 ワクチン調整室でございます。大規模接種会場のモデルナのワクチンの部分については、現在来ているワクチンの中で何とか足りるかと思っております。日々、接種の部分で多少の人数変動がございますので、そういった意味合いで言えば、この2箱があったほうが円滑というか、そういう運用はできたかと思っておりますけれども、現状、今入ってきているワクチンの中で、予約者の部分の数は確保しているという状況には変わってございません。

以上でございます。

【朝日（幹事社）】 朝日新聞です。細かい点ですけれども、個別接種に対しては、市独自の協力金の支払いが加速のドライブになったような面があるんですけれども、高齢者分について7月中実施までということで、今後についてなんですけれども、いわゆる高齢者以外の部分というのは、こうしたインセンティブというのは、インセンティブを与えることと供給が不安定、先行きが不透明だというのが相反する感じではあるんですけれども、その辺りはどうしていくのでしょうか。

【市長】 何らかのインセンティブは必要だと思っていて、そのことについても国とは協議はしています。こちらから、協力に対するものというふうなの、国でも支援していただけるような枠組みというか、そういったものが必要だということを訴えていますし、一定の理解はいただいているんだと現時点では思っています。

【朝日（幹事社）】 なるほど。方向とすると、何らかの行う方向……。

【市長】 そうしたいとは思っていますが、現在調整中です。

【朝日（幹事社）】 分かりました。

【読売】 読売です。大規模接種、会場を借りているわけですが、この先にさ

らに延ばしてやる可能性はあるのでしょうか。

もう1点は、これまでにどっかのところで区切って、何人ぐらい受けたという数字は何か……。

【市長】 ごめんなさい、今のところ、今までに受けた数ですか。

【読売】 はい。

【市長】 モデルナのという意味でしょうか。

【読売】 大規模会場で。

【市長】 今の、事務方からでもよろしいでしょうか。

【健康福祉局】 ぱっと累計が出てございませんけれども、おおむね日々、1日2,000回を定数として、実際にはキャンセルの方もいらっしゃいますので、2,000回弱の部分で運用してきております。今週も1,900後半台で接種を行っておりますので、計算がぱっと出ませんが、その人数相当分は実績があつて、トータルで10万回程度の接種になるのかと見込んでおります。

以上でございます。

【読売】 もう1点は、10月10日以降という可能性はあるのでしょうか。

【市長】 私たちも、突然2回目を始めるということではなくて、6月の段階で、引き続き、大規模接種会場をやりますかということに、私たちがエントリーしていたものが認められて、第2回目も第13クールから始められるということになっているので、ワクチンが国から供給されることの予定が対なものですから、現時点ではその先の予定は立っていないということが正しいと思います。

【読売】 分かりました。

《神奈川県独自の緊急事態宣言について》

【時事（幹事社）】 県独自の緊急事態宣言が発令されるようですけれども、それについて御所感等ありましたら、お願いします。

【市長】 陽性率がこれだけ増えてきているので、何とも致し方がないという感じがすけれども、特に飲食店、これまで厳しかったところがさらに一層厳しくなるという意味では非常に残念な思いでありますけれども、致し方がないと受け止めてはおりません。

【時事（幹事社）】 ありがとうございます。

【朝日（幹事社）】 関連して。川崎市は緊急事態宣言が起きた場合には、学校行事、修学旅行なんかをやる場合、たしか緊急事態宣言だと中止という基準があつたかと思うんですが、県独自のやつはどう解釈するんですか。

【市長】 県独自の緊急事態というのが、カテゴリー的にちょっと……。

【朝日（幹事社）】 まん延防止という法的な理解でいいのでしょうか。

【市長】 という理解でしたいとは思いますが。

《東京2020オリンピック競技大会について》

【t v k】 テレビ神奈川です。今日も、等々力陸上競技場でラグビーの練習が行われていますが、連日準備が進んでいる中で、本来であれば、市長も視察であったりとか激励であったりということが予定された可能性もあったかなと思うんですが、非常に気になっていらっしゃるかと思うんですが、明日から開会式前競技が始まるということで、オリンピックについて一言いただけたらと思います。

【市長】 私、土曜日の日に、BOAの、イギリスのオリンピック委員会のCEOがお見えになったので、等々力にお見えになるということですので、お出迎えはさせていただきますし、御挨拶もさせていただきます。CEOからは、川崎の受入れ体制について、万全を期していただいていることに、こんな厳しい中でもこういうおもてなしをいただいていることにすごく感謝をされていました。サポーターの皆さんも何人かお手伝いに来てくださっていて、こういう状態でもできる限りのことをやりたいというボランティアの皆さんの熱い思いに改めて感謝したいと思いますし、開会式まであと3日という中で、本当にオリンピック感がないというか、非常に残念だなと思います。ただ、一人一人のアスリートの皆さん、川崎出身の方もたくさんいらっしゃいますし、川崎出身だけじゃなくて、やっぱり頑張っている全てのアスリートの皆さん、オリパラ両方ですけれども、そういう人たちは全力で良い結果を出せるように頑張っていたきたいなという応援の気持ちはいっぱいです。

【t v k】 ありがとうございます。

《土砂災害への対応について》

【読売】 読売です。熱海の土砂災害の関係ですが、災害を契機に、いろいろ現状を見直すということは大事だと思うんですけれども、川崎市として、災害を受けて、改めて進めていることが何かあるかどうかということ。それから、応援派遣の動きなど、その後の動きなどありましたら教えてください。

【市長】 まず、応援派遣については、第4次（※補記）隊を送って戻ってきて、ここで一旦終了という形になっています。この間、本当に暑い中でもありましたけれども、県内の消防の皆さんとも協力して活動できたということに、ねぎらいをしたいと思いますし、それから、防災対策という意味では、これまでも実は進めてきているのは、盛土しているマップというのも既に川崎市では作成していて、ここが盛土になっ

ていますと。盛土って、ああいう大規模盛土みたいなところはないわけですが、常にこういうところですよというのを認識していただくマップも作成しているので、それをやはりこれからも啓発していかなくちゃいけないなど。

それから、盛土だけじゃなくて、土砂災害の警戒区域ですとか、そういったところのマップって、ハザードマップでしっかりと示しているので、改めてこれから風水害の多い時期に入ってきますので、啓発に努めていきたいと思っています。

【司会】 いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして終了とします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312